

2017年

## 最終成果

### 1. 教育

- 受講者数の増加
  - 関連科目①:5年間で150名
  - 関連科目②:5年間で100名
- 関連科目②の正規カリキュラム化
- 地域に愛着を持ち、地域貢献への意欲の涵養
- 地域医療に対して、学部を超えた多角的な視点の育成
- 学生間での自発的な地域医療学習

### 2. 研究

- 収集されたデータの解析
- 研究結果の発信
- 研究成果物の発表

### 3. 地域貢献

- 地域医療に従事する医療者の輩出
  - 後期研修医:8名
  - 初期研修医:12名
- 地域への愛着と地域貢献の意欲をもつ医師の輩出
- 多分野にわたり構築された人的ネットワークを活かした地域医療の実践
- 研究から得られた知見をもとに、地域住民への健康的な生活の啓発

2016年

2015年

## 中間評価

### 1. 教育

- 多分野で協同した地域医療・保健教育
  - ・ 医農連携・教養教育との連携によるカリキュラムの改善
- 地域医療に対する学部を超えた多角的な視点の萌芽
- 学部・産学を超えた学生同士の交流と人的ネットワークの形成

### 2. 研究

- 調査データの収集と管理
  - プロジェクトE:地域住民の健康問題の把握、疾病データの収集
  - プロジェクトA:地域住民の生活の実態データの収集

### 3. 地域貢献

- 地域交流の密接化
- 学生による健康相談
- 自治体の健康診断への参加

2014年

2013年

## 現状

### 1. 教育

#### 【関連科目】

- ①佐賀県内基幹病院・中核病院実習
- ②自治医科大学・佐賀大学医学部合同夏季実習
- 受講者数:①25名、②20名(1~4年生)
- ②は非正規のカリキュラム
- 地域医療の現場への早期暴露
- 医学生同士での実習体験の共有

### 2. 研究

- データ収集の計画と必要物品の整備
  - 離島・山間部における健康問題および生活背景の想定
  - 研究計画書の作成

### 3. 地域貢献

- 地域住民との交流
- 地域医療に興味を持つ医学生の育成

地域(へき地)における保健医療従事者の不足  
人材育成の必要性。

協力自治体:唐津市、佐賀市他

地域課題: